

令和4年度 第1学年 美術科 年間指導計画(年間 45 時間)

目 標	・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てる。 ・感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
-----	---

評価の観点:①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に取り組む態度

月	時間	【領域】 単元名	単元のねらい 【教材】	評価規準 (評価方法)
4	1	ガイダンス	授業で用いる教材や年間の授業計画を確認し、1年間の活動の見通しをもつ。	
	3	【表現/デザイン】 レタリング ～文字のデザイン～	デザインされた字体の特徴や美しさを理解し、材料や用具の扱いを工夫しながら自身の名前をレタリングし、美しい文字を表現する。 【教材】A4画用紙、油性ペン、レタリング字典など	① 字体の特徴を理解し、定規や描画材料の扱いを工夫しながら、美しく文字を表現している。(作品・定期考査) ③ デザインされた文字について関心をもち、意欲的に表現しようとしている。(授業の様子、提出状況)
	3	【表現/デザイン】 色の仕組み ～三原色でつくる色相環～	色彩と混色の法則性について理解し、絵具や筆などの用具の扱いを工夫しながら、色相環に当てはまる色彩を表現する。 【教材】ポスターカラー、A4画用紙など	① 色彩の仕組みを理解し、絵具や筆の扱い方を工夫しながら、色相環を表現している。(作品・定期考査) ③ 色彩の仕組みについて関心をもち、意欲的に表現に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)
5	1	【鑑賞/絵画】 モネの色彩 ～色彩が表すイメージ～ ★文化	モネの「ルーアン大聖堂」、「積み藁」の作品群を題材に「色彩が表すイメージ」に焦点を当てて鑑賞し、見方や感じ方を広げ、作品の良さや美しさを味わう。 【教材】「ルーアン大聖堂」、「積み藁」など	① 色彩が表すイメージを感じ取り、自分なりの思いや考えをもって味わっている。(ワークシート) ③ 色彩が表すイメージに関心をもち、主体的に感じ取ろうとしている。(授業の様子、提出状況)
	8	【表現/デザイン】 絵文字 ～楽しく伝えるデザイン～	色彩によって暖かさや冷たさなどのイメージが表現できることを理解するとともに、「文字(任意の漢字1字)」をテーマに、文字のもつ意味からイメージを膨らませ、形や色彩の効果を生かして表現の構想を練り、創意工夫して「絵文字」の作品を表現する。 【教材】色鉛筆、アクリルガッシュなど	① 色彩や形が表すイメージを理解し、絵具や筆などの扱いを工夫しながら、絵文字を表現している。(作品・定期考査) ② 文字の意味からイメージを膨らませて主題を生み出し、色彩や形の効果を考え、作品の構想を練っている。(作品・定期考査) ③ 色彩や形の効果によって文字のイメージを表現する活動に関心をもち、意欲的に活動に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)
6 ◆	1	1学期期末考査(6月)		
	2	【表現/デザイン】 明るい選挙ポスター ～視覚で伝えるデザイン～ ※夏休み課題 ☆公共性	ポスターの表現活動をとおして、作品の目的や他者に伝えたいことを基に作品の構想を練り、材料や用具の扱いを工夫して表現する。 【材料】四切ケント紙、アクリルガッシュなど	① 制作手順や画面構成について理解し、文字の描き方や絵具の塗り方を工夫して作品を表現している。(作品・定期考査) ② 目的や見る人の気持ちを基に主題を生み出し、色彩や形の効果を生かして、作品の構想を練っている。(作品・定期考査) ③ 目的や伝えたいことを基に表現する活動に関心をもち、意欲的に表現に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)
9 10 11 ◆	10	【表現/工芸】 木のスプーン ～目的をもった形の表現～	スプーンの使用や機能、木材の特徴などを基に、目的に応じた形の構想を練り、木材や道具の扱いを工夫して表現する。 【材料】木材、植物油、小刀、彫刻刀など	① 木材や小刀、ヤスリなどの扱い方を理解し、工夫して作品を表現している。(作品・定期考査) ② 道具の機能・目的について考えたことから、作品の構想を練っている。(作品・定期考査) ③ 道具の機能・目的を考えて表現する活動に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)
	1	2学期期末考査(11月)		
12	2	【表現/絵画】 球体のデッサン ～明暗と立体感の表現～	明暗と立体感の関係について理解するとともに、モチーフの光や影を感じ取って、鉛筆の明暗の効果を考えながら作品の構想を練り、創意工夫しながらデッサンを表現する。 【教材】A4画用紙、鉛筆、練り消しゴムなど	① 明暗の表し方を身に付け、工夫して立体感を表現している。(作品・定期考査) ② 明暗をテーマに主題を生み出し、主題を基に表現の構想を練っている。(作品・定期考査) ③ 立体感の表現や、鉛筆による明暗の表現に関心をもち、意欲的に活動に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)

1	5	【表現/絵画】 水彩スケッチ ～見て感じて、描く～	身近なものをテーマに、その色や形、光、質感などの特徴を感じ取り、用具の扱い方を工夫して表現する。 【教材】A4 画用紙、絵具など	① 用具の扱いを身に付け、創意工夫して対象の特徴を表現している。(作品・定期考査) ② 身近なものをテーマに主題を生み出し、表現の構想を練っている。(作品) ③ 対象を観察して表現する活動に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 (授業の様子、提出状況)
	1	【鑑賞/絵画】 日本と西洋の遠近感 ～北斎とターナー～ ★文化	日本と西洋の絵画作品を鑑賞し、それぞれの遠近感の表現について理解するとともに、その表現の効果やよさを味わう。 【教材】「富嶽三十六景」「戦艦テメルール号」など	① 日本と西洋の作品の代表的な作品と、表現の特徴の違いについて理解している。(定期考査) ② 日本と西洋の表現の違いについて考えながら、それぞれの表現の効果やよさを自分なりに味わっている。(ワークシート・定期考査) ③ 絵画表現の鑑賞に関心を持ち、意欲的に活動に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)
2	2	【表現/絵画】 草原の中のリンゴ ～遠近感の表現～	課題文からイメージを膨らませて、遠近感やものの質感など、表現の構想を練り、創意工夫して風景のイラストを表現する。 【教材】色鉛筆、A4 画用紙など	① 遠近感や質感の表し方を身に付け、意図に応じて材料の扱いを工夫しながら表現している。 (作品・定期考査) ② 課題文からイメージを膨らませ、表現の構想を練り、工夫して表現しようとしている。 (作品・定期考査) ③ 遠近感の表現に関心を持ち、意欲的に表現に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)
	1	3学期期末考査(2月)		
3	4	【表現/絵画・彫刻】 人物の動勢 ～鉛筆と粘土のクローキー～	人物をモチーフに、その動勢を捉え主題を生み出し、それを基に形や色彩の効果を生かして構想を練り、創意工夫して表現する。 【教材】鉛筆、練消しゴム、シルククレイなど	① 動勢の表し方について理解し、表現したいイメージをもちながら用具の扱い方を考え、創意工夫して表現している。(作品) ② 人物の動勢をテーマに主題を生み出し、心豊かに表現の構想を練っている。(作品) ③ 人物の動勢の表現に関心を持ち、意欲的に活動に取り組んでいる。(授業の様子)
	1	3学期期末考査(2月)		

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	①知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて表現方法を工夫して表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法	・作品 ・道具の使い方 ・制作過程、授業の様子 ・定期考査	・作品 ・制作過程、授業の様子 ・ワークシート ・制作ノート ・定期考査	・作品等の提出状況 ・授業の様子 ・準備、持ち物 ・制作ノート

学習のアドバイス

【 授 業 】

- ① 作品や用具などの準備を素早く行おう。忘れ物には注意しよう。
- ② 活動中に私語をせず、集中して活動に取り組もう。(相談が必要な場合は、私語とみなさない。)
- ③ 作品や用具などの片付けを素早くし、その日の活動を振り返ろう。
- ④ 必要に応じて表現のための資料を家庭等で準備しよう。
- ⑤ 表現活動のペースを調整し、適切な進度を保とう。(遅ければ家庭等で進め、早ければ工夫できる点を探そう。)
- ⑥ 提出物は、期限を守って提出しよう。

【テスト勉強】

- ① 授業中に配布されたプリントをしっかりと確認しよう。
- ② 練習問題に取り組み、自分の理解度を確認しよう。分からないところはプリントで確認しよう。